

**2021年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）**

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（社会学） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>問1では、相対的剥奪について理論的に理解し、健康格差の具体的な事例に適用して説明できる能力を問うた。</p> <p>問2では、1) において量的調査におけるサンプリングについて、2) では質的調査におけるアクション・リサーチを、それぞれ具体的な調査状況において理解しているかどうかを問うた。</p> <p>問3では、社会学の重要な概念について問うことで、社会学の学説や基礎的事項の理解度を確認した。</p>

2021年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 社会学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 4枚を配付する。

問1では解答用紙1枚、問2では解答用紙1枚、問3では解答用紙2枚を用い、それぞれ問題番号を付した後、解答すること。

問1. 相対的剥奪とは何かを述べたうえで、その観点から健康の格差について400-600字程度で論じなさい。

問2 下記の2問を全て答えなさい。

- 1) サンプリングの方法と意義を200-300字程度で述べなさい。
- 2) アクション・リサーチの方法と意義を200-300字程度で述べなさい。

問3. 下記の(1)～(7)から5つ選び、それぞれ200字程度で説明しなさい。

- (1) コミュニタリアニズム
- (2) 選択バイアス
- (3) 社会的距離
- (4) 豊かな労働者
- (5) 虚偽意識
- (6) 聖なる天蓋
- (7) はだかの社会